②　収入の確保に関する事項
・遊休財産等の処分を行う。
・町有林の管理・活用による間伐材の売却を行う。
・受益者負担の適正化を図る。

⑵　その他財政の運営の合理化に関する事項
・組織機構や出先機関の見直し、事務事業の効率化、民間委託等の計画的な実施により職員数の抑制を行い、人件費の抑制に努めるとともに、勧奨による退職者数の増や年齢構成の偏重などを考慮しながら定員の適正化を図る。
・公共施設の老朽化に伴い、維持補修や大規模改修などによる経費の増加が見込まれることから、維持管理コストの削減の検討と、利用者の動態等を的確に把握し、積極的に既存施設の廃止、縮小を図るとともに効率的、効果的な施設整備を行う。
・各特別会計、企業会計においても、受益者負担の適正化、内部管理経費の削減に積極的に取り組み、効率的な財政運営を確立するとともに、一般会計からの繰出金等を削減する。なお、財源不足が生じる場合には、事業や保険料、使用料等を見直すことを基本とするが、必要に応じ一般会計からの繰出金を補填し、赤字の発生を抑制する。

奈良県御所市　財政健全化計画完了報告（要旨）

1　財政健全化計画の平成23年度実施状況

⑴　具体的な措置の実施状況
・税収入の確保については、差押えなどを実施し、徴収率の向上に努めた。
・総職員数の削減及び職員給のカットを実施した。
・特別職（非常勤等を含む）の手当及び報酬のカットを実施した。
・イベントや団体運営への補助金等を廃止・凍結した。
・奈良県の財政健全化貸付金の活用により公債費を抑制した。

⑵　歳入及び歳出に関する計画の実施状況
・財政健全化計画における平成23年度中の効果計画額と実績額の比較

（単位：百万円）

内容	効果額	
	計画額	実績額
市税等の自主財源の確保	85	99
総職員数の削減及び職員給のカット等	281	290
団体運営補助金等の廃止・凍結	20	20
地方債の平準化と後年度の利子軽減	270	290

⑶　健全化判断比率の状況

（単位：%）

内容	計画前年度（20年度）	計画初年度（21年度）		22年度		完了年度（23年度）		最終年度（25年度）
	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値
実質赤字比率	16.31	13.89	10.31	7.61	1.82	3.76	—	—
実質公債費比率	25.8	26.5	25.6	24.4	22.4	22.2	19.0	19.6

⑷　その他財政の早期健全化に必要な事項の措置の実施状況
・技能労務職員に適用する給料表の見直し、学校の統廃合、ごみ処理業務の広域化、下水道使用料の見直しについては、引き続き内容・時期などの検討を進めていく。